

『アフターコロナの病児保育』



理事長 木野 稔

この3年間、新型コロナウイルス感染症により、全世界が社会的にも経済的にも大きな影響を受けました。子どもや若年者には重症者は少ないですが、症状が強く入院した方がよい例も見られました。そこで、しばらくの間、病児保育利用者の方々には毎回新型コロナウイルス抗原検査をしてから入室する時期が続きました。ご存知のように、5月からいよいよ感染症法の2類から5類へと移行することになり、取り扱いはインフルエンザに準ずることになっています。しかし、今後も変異株がどうなるかはわかりませんので、今回の経験から多くのことを学ばなければなりません。ウイルスがなくなるということでもなく、ウイルスと一緒に（ウィズ・コロナ）という言い方もされますが、私は敢えてアフターコロナ（コロナの後）にしたいと思います。なぜなら、私たち小児医療スタッフは、すでにコロナだけでなくRSやインフルエンザなどその他多くのウイルスに対しても、感染対策を行ってきました。それよりも、子どもにはできる限り制約なく活動できる環境を提供してあげたいと思います。マスクで顔が半分隠れた状態では、笑顔も忘れてしまいます。食事も遊びも楽しむことで成長します。

国の方では、4月からこども家庭庁が発足し、新しい時代が到来します。「子どもまんなか社会を作る」というキャッチフレーズです。小児医療は厚生労働省の管轄に残りますが、病児保育は子ども家庭庁の所管になるのです。病児保育は子どもが病気の時の就労支援としてだけでなく、病気の時でも子どもの健全な育ちを支えるとともに、保護者が安心して社会活動全般への参加を可能とする制度です。医師や看護師など専門家のいる病児保育事業では、病気や発達の問題だけでなく、育児不安を抱える方への相談機能等も積極的に担うことができます。病児保育事業こそ、医療の専門家がいる子育て支援施設であり、地域で包括的にセンターの役割を担うことができると思います。

大阪旭こども病院アリス病児保育室は、親子が何でも安心して相談できる施設になるようにします。どうぞ、ご期待ください。





病児保育ってどんなところ？



普段、保育園に通っているけれど、急な病気で保育園に通えない…
家庭の都合でどうしてもおうちで看病できない…そんな時…
保育士、看護師が専用のお部屋でお預かりする施設です



～利用方法の流れ～

登録

予約

受診

入室

退室

～利用中の様子～

病状や年齢に合わせて絵本の読み聞かせや製作遊び、季節の行事を行っています。
子どもは熱があっても”遊びたい”と意欲がある場合があります。子どもの状態によって遊ぶ時間を設定したり、安静が保てるよう十分に休息できるようにしています。
回復期には、通園施設と同様の生活リズムに合わせて環境を整えています。



いちご祭り



たなぼた

「今日はこれが作りたい」とリクエストを受けることもあり、遊びの時間を楽しみに行っている子どももいます☆



こいのぼり



秋の収穫祭



節分



登録受付時間

平日 10:00～11:00
12:30～15:00
土 10:00～12:00

※母子手帳持参のうえ
お越しください

～お願い～

非課税世帯の方は、利用の際に令和5年度の証明書の提出をお願い致します。
詳しくは大阪市のホームページより検索、ご確認ください♪

病児保育室の休室日

- ・日曜日、祝日
- ・5/3 (水)～5/5 (金)
- ・8/12 (土)～8/15 (火)
- ・12/30 (土)～1/3 (水)



利用方法や一日の過ごし方について詳細はホームページからご覧ください 詳しくはこちら↓



大阪旭こども病院 アリス病児保育室
〒535-0022 大阪市旭区新森4-13-17 TEL: 06-6952-4561

